

平成29年度 事務事業外部評価結果 集計表

【評価点】

・8名の委員が事務事業ごとに事業の妥当性や効率性などについて5点満点で評価したものの平均点数。

- 【A評価 30事業】 事業は必要かつ有効であり推進することが妥当 (評価点 4.0以上)
- 【B評価 10事業】 事業の改善を図りながら継続することが妥当 (評価点 3.0~3.9)
- 【C評価 0事業】 事業の一部修正・再検討(事業内容・手法・規模・実施主体等)が必要 (評価点 2.0~2.9)
- 【D評価 0事業】 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要 (評価点 1.9以下)

登録No.	事務事業名	評価点	委員会評価	コメント
1	自主防災組織の育成指導と防災訓練への参加	4.1	A	・災害時、地域の中でのお互いの助け合いが重要なことから、防災組織の体制作りは急務であり、防災組織の育成・指導を丁寧に行うことが必要だと思います。よって、日ごろからの訓練と防災意識の向上に努めるとともに、市民から十分な理解と協力が得られるよう引き続き周知をお願いいたします。
2	被災者の住宅移転の促進	4.3	A	・応急仮設住宅に残っている被災者に寄り添った細やかで丁寧な対応を続けながら、空き市営住宅の活用なども検討し、一日も早く事業を終えることを願います。
3	結婚・妊娠・出産・子育て・教育の切れ目のない支援	4.0	A	・個別の各事業は、少子化対策の解決策の一つであり、各事業目標の達成には困難が多いと思いますが、将来のために事業を推進することを望みます。婚活事業については自然な出会いを導くようなイベントを、また新生児子育て支援金については、市内で使用できる商品券などの現金以外の支給も検討してください。
4	子育て支援活動	4.5	A	・今後も子育て世代により多くの情報を提供できるよう努めるとともに、愛育園が子育て世代の方々が必要とされる「子育て支援の拠点」として、身近な施設となるよう努めてください。また、人材の確保について、シニア世代の協力を仰ぐなどして有資格者の確保をお願いいたします。
5	放課後児童の健全育成	4.5	A	・市内全域での放課後児童クラブの充実を図り、利用者の立場に立ったソフト面の充実を望みます。児童の安全安心のためにも、できれば通学する学校の近くの児童クラブを利用できるようになることを望みます。
6	確かな学力の育成	4.4	A	・児童・生徒に将来の目標を持たせるとともに、各校の情報、効果のある取り組みを共有するなどして事業のさらなる向上を図り、個々の児童・生徒への細やかな指導を行い基礎学力の向上につながることを期待します。
7	豊かな心の育成と生徒指導の充実	4.0	A	・被災児童だけではなくすべての児童生徒に支援できる体制、また、子どもたちが心にゆとりを持って生活できる体制作りを望みます。併せて、大震災からの時間の経過などを考慮し、その状況に合った心のケアの継続をお願いいたします。
8	学校施設の改築・改修	4.4	A	・子どもたちが安心して学ぶための教育環境の整備は将来に巨り必要なことであり、よりよい環境づくりをお願いいたします。なお、工事の際には、緻密な調査を行い、事業に遅滞が生じないよう万全の方策を講じたうえで事業を遂行してください。
9	学校施設の整備と充実	4.4	A	・教育環境が改善されることは、子どもにとっても預ける親にとってもありがたいことです。財源の確保にあたっては、補助金等を最大限に活用して市の財政負担の軽減につなげるような工夫をお願いいたします。
10	情報教育の充実	4.1	A	・ICT機器が有効なツールとなるよう、教職員のスキルアップを図り、生徒が理解を深められるような指導に努めてください。また、ICT機器を導入することで現場教員の負担が増えないようにサポート体制の構築を早急に確立してください。併せて、情報モラル教育についても、講習会等を通じた指導をお願いいたします。
11	国際理解教育の充実	3.8	B	・ALTと接する機会を増やし、さらなる英語力の向上に努めてください。英語圏以外の国々もあるので、英語教育だけで国際理解ができるかは疑問であるため、英語圏以外の国の方々と触れ合う機会を設けるなど、工夫を凝らしながらの事業の展開をお願いいたします。
12	農産物のPRと地産地消の推進	4.1	A	・地場産品の安全性のPR、地産地消の推進、各種メディアを活用して生産者の生の声を伝える機会を増やすなど、風評払拭の取り組みの推進を望みます。また、地産地消の観点からも相馬市内の学校給食に地元食材を積極的に使用するよう検討してください。
13	有害鳥獣対策の推進	4.1	A	・射撃場の整備充実は、狩猟従事者の育成、支援に必要な事業であり、また他地区からの集客にも効果があると思われるので推進を望みます。また、近隣市町村等からの利用促進のためにも広報活動を積極的に行ってください。
14	森林・里山整備の推進	3.7	B	・森林、里山の整備は、林業の再生だけでなく、災害防止の面からも大切な事業と考えます。森林の荒廃は国土の荒廃、豊かな水産資源の減少にも繋がるため、健全な森林の再生に努めてください。
15	安全で安心な水産物の生産と地産地消の推進	4.5	A	・相馬における漁業復活のためにあらゆる手段を用いて地産地消、安全性のPRに努めてください。また、「おさかなフェス」のようなイベントを多く実施して、交流人口の増加につなげることを望みます。
16	商工団体との連携による商店街の活性化	4.1	A	・市街地の駐車場の確保、空き店舗の活用、プレミアム商品券の活用など市と関係団体が連携し、他地区の事例なども参考にしながら事業の推進に努めてください。
17	企業誘致の推進	4.3	A	・税収向上の観点からも企業誘致は必要であり、企業進出の阻害要因の分析とその解消に努め、企業そして新たに住民となる人へのメリットをPRし、関係機関と連携を図りながらの事業を展開してください。
18	相馬港の利用促進	4.0	A	・福島県内陸部と宮城県南部へ相馬港の利便性の向上を全面に打ち出し、利用する企業のニーズに合ったポートセールスにより、積極的にPRをして、利用促進につなげてください。
19	歴史を活かした通年観光に向けた取り組み	3.8	B	・課題は山積しているが、絶対に必要な事業です。野馬追関連を軸に市街地案内板や史跡等案内板の設置、甲冑着用体験等歴史に触れる機会を増やすなどの工夫をしながら、関係団体と連携を図り事業を推進してください。
20	図書館機能の充実	3.7	B	・歴史的な資料の保存には、電子媒体を活用することで収蔵場所の解消につながると思います。図書館行政は現状では物足りないため社会教育の重要な施設となるよう抜本的な改善も視野にいれながら利用者ニーズに合った運営をお願いいたします。

登録No.	事務事業名	評価点	委員会評価	コメント
21	中村城跡の保存・整備	3.7	B	・市民の誇りであり観光資源でもある「中村城」を市民の宝としてどのように保存、整備、管理していくのかを市民全体で共有できるよう、より一層情報公開をして事業の推進をお願いいたします。
22	収蔵館での展示の工夫、特別展の開催	3.8	B	・設置当初に比較すると改善の跡がみられることは、とても良いと思います。企画展における展示方法等には技術的改善の必要性を感じることから、一層の展示技術の向上に努めてください。また、展示物のテーマごとの入れ替えや企画展の内容について若者の興味を引くものも検討してください。
23	郷土蔵の利活用	3.9	B	・小学校の社会科の授業で利用されるなど利活用の幅が広がったことは評価に値すると思います。来館者が増加するようさらなる工夫が必要だと思います。収蔵物の将来にわたるメンテナンスは課題となるので、修復手段や技術の継承、修理方法の映像管理などについて検討をお願いいたします。
24	姉妹都市、友好都市等との交流の推進	4.2	A	・子どもの目線からなど工夫を凝らしながら、市民レベルでの交流を深め、交流人口増加のためにも事業を継続してください。また姉妹都市、友好都市等とはどのようなものかを伝えながら広報活動に取り組んでください。
25	ごみの減量化・再資源化	4.3	A	・市民への徹底したゴミ分別のPR、減量化、リサイクルへの関心度を向上させるため、ごみの分別ガイドブックを作成し配布をして、市民まつり等のイベントでの啓発活動などで利用し、この事業を推進してください。
26	消防救急・救助体制の充実強化	4.4	A	・市民が救急医療体制の一翼を担うことができることを認識させることが重要なので、市民への積極的なPRをお願いいたします。また、普通救命講習の受講者数を増やすため、関係機関と密に連携を取り、高校生を含む若い世代を対象とした事業の展開を望みます。
27	地域ボランティアによる防犯体制・交通安全対策の充実	4.7	A	・市をあげて見守る体制構築のため、見回り御用隊の創設と「郵便局」及び「JA」との連携などは大変評価できます。地域ボランティアを中心に各々の地域全体で防犯・交通安全を考えていくさらなる体制作りに努めてください。
28	放射能問題対策	4.2	A	・放射能に対する正しい理解が地産地消を進め、風評の払拭にもつながるものと考えます。根気強く工夫を凝らしながら、人材の育成を含めた事業の継続を望みます。
29	外部被ばく線量検査、内部被ばく検査の継続	4.1	A	・市民の関心は薄れてきていますが、市民の安全・安心のためにも、粘り強く事業を継続するとともに、啓発活動の推進をお願いいたします。
30	交通弱者、買い物弱者への支援	4.5	A	・利用者のニーズを把握し、きめ細やかな計画に基づき、他の事業との整合性を図りながら、利用者の利便性の向上と効果的なPRをお願いいたします。
31	在宅障がい福祉施策の充実	3.8	B	・障がい者も安心して生活できる街である様に推進すべき事業です。デリケートな問題なので”気になる”段階のアプローチは親子に寄り添って進めてください。また、ハンデキャップのあるひとが安心、安全に暮らせる市にするためにも内容の再検討をお願いいたします。
32	介護予防事業の推進	4.4	A	・介護予防事業の一環である骨太体操と皆で集まって活動する環境も、介護予防にとっても良い効果があると思います。健康寿命を延ばすために様々な方策をたて、共に生きることを目指すこの事業は市民全体で考える事業でもあるので積極的に推進してください。
33	公園遊具の維持管理	4.4	A	・安全安心に子どもたちが遊べるようメンテナンスを計画的に行ってください。市民の要望を取り入れながら「総合公園」の設置など積極的な事業展開を望みます。
34	橋梁・トンネル等の点検・維持管理	4.2	A	・予防保全型メンテナンスをすることは事故を未然に防ぎ、災害に備えることとなり、安全で快適な市民生活につながることから、避難道路の整備と併せての事業の推進をお願いいたします。
35	ユビキタスサービス情報基盤整備事業	3.9	B	・ユビキタスサービスを利用するためには、マイナンバーカードを取得しなければならず、成果も見えにくい事業ではあるが、利用できるサービスを増やすなど工夫を凝らしながら事業を推進するとともに、市民に対する積極的なPRをお願いいたします。
36	特定健診事業	3.6	B	・民間金融機関との事業連携は良いアイデアだと思います。実施率の向上のため、健診日程や追加健診に関する情報などのPRを健康寿命を延ばす指標という位置づけで積極的に行ってください。また、未受診者の理由を調査し受診率向上につなげるよう検討してください。
37	選挙啓発推進(常時啓発)	4.1	A	・選挙期間中だけではなく、機会があるごとに啓発活動を行うとともに、若者の興味を引くような、また期日前投票所の増設や投票所に自分の足では出向くことのできない方への対策など工夫を凝らしながら、さらなる事業の推進をお願いいたします。
38	市民会館の利活用	4.1	A	・利用者の増加につながるよう、会館の利用状況をホームページで確認できるなどの体制整備を進めてください。また、経年劣化に伴う音響施設を含む設備を点検してより良い施設・設備の維持管理をお願いいたします。
39	特色ある公民館活動の推進	4.3	A	・市の中心部まで出向かなくても活動できる拠点として有効な施設であると思います。地域の特性や市民のニーズをくみ取った様々な講座を企画し、学習機会を増やしてください。
40	人材の育成	4.1	A	・市民のためになる研修であるかを常に考え、様々な取り組みを行いながら事業を推進してください。新制度を導入する際は職員へ最大限の配慮と工夫をお願いいたします。また、民間事業者との人材交流は必要なことだと思いますので継続することを望みます。